

令和7年9月11日

課名 商工労働局雇用労働政策課

担当者 課長 倉田

内線 3423

令和7年度広島県障害者雇用優良事業所表彰について

1 要旨・目的

障害者を積極的に雇用している事業所に対して表彰を行い、その努力をたたえとともに、これを広く県民に周知し、障害者の雇用の促進に資する。

<表彰の基準>

障害者の雇用割合が高く、かつ障害者の雇用が安定している事業所で、その成果が特に顕著なもの

- 過去5年間の各年6月1日現在、常用雇用労働者である障害者数が3人以上であり、そのうち重度障害者を1人以上雇用し、法定雇用率を達成していること。
- 過去5年間、常用雇用労働者として障害者を1人以上採用した実績があること。
- 障害者の定着に努め、また雇用について積極的な姿勢を持っていること。 等

2 被表彰事業所（3者）

- 株式会社Asahicho（府中市、繊維工業）
- 広島アルミニウム工業株式会社（広島市西区、輸送用機械器具製造業）
- ダイセル大竹産業株式会社（大竹市、化学工業）

※各事業所の取組内容は裏面に記載。

3 表彰式

日時：令和7年9月9日（火）16:00～16:30

場所：県庁北館2階 第一会議室

出席者：梅田商工労働局長、藤井雇用労働担当部長、被表彰事業所3者代表者（3名）

4 今後の取組予定

表彰をきっかけに、優良事例の展開を図ることで、関心を持つ企業を増やし、障害者雇用が進むよう次の取組を実施する。

- 9月16日（火） 企業向けオンラインセミナー「障害者雇用理解促進セミナー」
- 10月7日（火） 障害者合同企業面接会（広島）（ハローワーク主催、広島県共催）
- 10月23日（木） 障害者合同企業面接会（福山）（ハローワーク主催、広島県共催）
- 11月予定 企業等見学会の実施（広島市、福山市の2か所で実施）

5 被表彰事業所の取組内容

事業所名	業 種	障害者雇用の取組
株式会社 Asahicho (府中市)	繊維工業	・ 障害の有無に関わらず、縫製技能の伝承に努め、本人の適性を見ながら、資格取得支援制度の適用やアビリンピックを通じた技能向上を推奨している。 ・ 事情を抱えながらも働ける職場という意識が醸成されており、障害者だからと障壁をつくることなく受け入れている。 ・ 福山市、府中市、島根県雲南市の障害者就労支援施設に対し、業務を外注することで、雇用以外の形でも障害者就労支援に取り組んでいる。
広島アルミニウム 工業株式会社 (広島市西区)	輸送用 機械器具 製造業	・ 新入社員や新任の管理者等、階層ごとの研修に、障害についての研修を組み込み、また社内ホームページでも障害に関する情報を発信する等、社内の意識醸成に努めている。 ・ 障害者雇用と定着支援を専門とする部署を設置し、関係機関や福祉事業所とも連携を取りながら、広く職場見学や実習を受け入れ、雇用につなげている。 ・ ジョブコーチや障害者職業生活相談員を複数名配置しており、身近に相談できる体制をつくっている。
ダイセル大竹産業 株式会社 (大竹市)	化学工業	・ サポートチームを設置し、専任のサポーターが障害者と同じ部署で働くことで、いつでも相談でき、一人ひとりの成長や困りごとに合ったサポートをしている。 ・ 相談対応記録や障害者本人の概要書を作成し、必要があれば本人の承諾を得て同僚にも共有することで、双方が働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 ・ 「だれもが安心していきいきと働ける会社づくり」を掲げ、障害者の活躍のイメージとサポート体制の検討を行い、本人の希望と特性を加味して様々な業務にチャレンジしてもらうことで、実践している。 ・ もにす認定※を受け、地域において障害者雇用における身近なロールモデルとしての役割を果たしている。 ※もにす認定： 「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度」 厚生労働大臣が、障害者の雇用の促進や安定に関する取組などの優良な中小企業を認定する制度。 県内14事業主が認定されている（令和7年6月30日現在）。